

R & D部門が自律的内部成長を保証するための

# R & D部門の組織開発と人材育成・評価

～人的融合を促進し技術マーケティング、コア技術ベースのテーマ創出を連動させる～

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2019年1月24日(木) 13:00~17:00

会場▶ 厚生会館(東京:平河町)

《開催にあたって》

【概要】このセミナーは、研究開発に携わる組織と人材を開発するための考え方や具体的な改善事項を提供する内容です。組織開発・人材開発の考え方が目指すのは高収益の実現です。具体的な改善事項とは、教育ではありません。技術戦略の策定やテーマ創出の仕組みを改善するなどが含まれます。

【効果】組織・人材開発を担うご担当者様が来年度の活動に組み込んでいただけるように、考え方や具体的な改善事項をセットにして提供しています。

【オススの受講者】人材開発・組織開発に携わる研究開発部門幹部の方、研究企画部門、新規事業推進部門

講師 高収益企業支援家・弁理士 中村大介氏(株式会社如水 代表取締役)



講師紹介

事業を模倣されて利益率が低迷した経験、社員の離反を招いた経験から継続的な組織成長の仕組みを模索。継続的な組織成長の仕組みは、社員の自発・自律・自治を促す学習と実践(会議)である事に気づき、「全員経営会議」として体系化。現在は全員経営会議の提供や、技術企業の高収益化のコンサルティングを通じて、社員の自己成長を促しつつ組織成長を実現する企業を支援している。クライアント企業では、売上が短期間に2倍になったケース、知財出願ベースが3倍になったケース、有望研究開発テーマが多数立案されたケースがある。専門は技術企業の高収益化。北海道大学卒業・東京大学大学院修了。日経テクノロジーのコラム「知財で築く真田丸」連載中。

《申込方法》 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名( 税込・資料代含 ) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用状況(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	34,560円 (本体価格 32,000円)	一般	37,800円 (本体価格 35,000円)
-----	------------------------	----	------------------------

182095-1010 R&D部門の組織開発と人材育成・評価			
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 役	属 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間~10日前まで)に受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。(TOP)→[公開セミナー]→[よくあるご質問]

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル2F

## ・プログラム・

### 1. 技術経営で実現する高収益

- (1) 自律的内部成長を保証する条件とは?
- (2) コア技術の進化・深化をするにはどうすれば良いか?
- (3) 自律的に進化・深化させるにはどうすれば良いか?

### 2. 技術マーケティングとコア技術ベースのテーマ創出

- (1) 技術マーケティングの理想的状況とは?
- (2) テーマ創出がうまくいっている状況とは?
- (3) 研究開発部門と事業部門の連携はどうすれば良いか?
- (4) 目標管理制度をどう運用するのか?
- (5) 組織風土をよくするためにできることはあるか?
- (6) 任期中に効果を出し、次世代につなげる方法がある。
- (7) 技術マーケティング/コア技術ベーステーマ創出の連動の条件

### 3. 具体的な実施事項

- (1) 技術戦略策定が本当にできているか?
- (2) ロードマップがカタチだけのローリングになっていないか?
- (3) アプリケーションマップは作成されているか? ローリングは?
- (4) 技術マーケティングの方法は進化しているか?

### 4. 組織・人材開発の改善方法

- (1) 技術戦略策定をルーティンにする仕組みとはどのようなものか?
- (2) テーマ創出スキル教育はできているか?
- (3) 技術マーケティング教育はできているか?
- (4) 面談制度/技術経営コーチング・リーダーシップの教育はできているか?
- (5) 継続的改善活動で学習する組織を実現するにはどうすればいいか?

### 5. まとめ

※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで  
2種類のセミナーをご案内しております。